

会長あいさつ

社長在任期間を振り返って

2012年2月以来、約6年にわたり社長を務めてまいりました。「世界で一番お客さまに選ばれ、愛される航空会社」になることを目標に掲げ、JALグループ全社員とともに走り続けてまいりました。「部門別採算制度」の確立と浸透による採算意識の向上、「JALフィロソフィ」の理解と実践によるJALグループ全社員共通の価値観の構築を通じて、新しいJALグループの基盤を創ることができたと考えています。

新社長の選任プロセスと 新社長に期待すること

この6年間、安定的に好業績を残すことができましたが、中期経営計画に掲げるさらなる成長を実現していくにあたり、今が次世代に経営を Batonタッチするタイミングと考え、2018年4月1日付けで、整備本部長であった赤坂祐二を新社長に選任いたしました。新社長の指名に際しては、JALグループの企業理念および経営戦略の実現に向けて最適な人物を選任すべく、指名委員会において社外取締役と議論を重ね、決定いたしました。赤坂は長年にわたりJALグループの整備や安全を担う部門を経験し、整備品質の向上や安全運航の堅持に尽力してきた、安全に対する強い責任感と現場への強い想いを持つ人間です。また、株式会社JALエンジニアリングの社長として、経営者としての研鑽も積んでまいりました。今後、日本航空の社長として、これまで培ってきたリーダーシップをいかに発揮できる人物だと確信しています。

果たすべき役割

今後は、業務執行は社長に一任し、私自身は会長として、取締役会の実効性を高める運営を適切に行うとともに、社長の業務執行を全力でサポートしていきます。また、社外の活動を通じたJALグループのプレゼンスの向上により、当社の企業価値の向上に貢献していく所存です。引き続き温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長
植木 義晴